FUJITSU Software ServerView Infrastructure Manager V2.0 操作手順書

第1.0版 2016年8月8日

CA92344-1395-01 富士通株式会社

			変	更履歴
版数	変更日	変更箇所		変更内容
1.0	2016/8/8	—		新規作成

目次

1. 事前設定	
1.1. データセンターを登録する	
1.2.フロアを登録する	
1.3. ラックを登録する	6
1.4. ノード登録する	
1.5. ネットワーク接続を設定する	
1.6.ノード異常の通知を設定する	
1.7. サーバ内の実装部品を表示する	
2. ノードの監視	
2.1.ノード状態を表示する	
2.2.ノードの通知情報を表示する	
2.3. ノードログを表示させる	
2.4.保管ログをダウンロードする	
3. 利用シーンごとの操作	
3.1. 異常が発生しているノードを確認する	
3.2. ネットワーク上の異常個所・影響箇所を確認する	
3.3.サーバを設定する	
3.3.1. サーバの BIOS を設定する	
3.3.2. サーバの iRMC を設定する	
3.3.3.サーバに OS をインストールする	
3.3.4. ポリシーを作成する	
3.3.5. プロファイルを作成する	
3.3.6. プロファイルを適用する	
3.4. サーバのファームウェアバージョンを確認する	
3.5. サーバのファームウェアをアップデートする	

1. 共通的な操作

1.1. ヘルプ画面を表示する

【説明】

ISM2.0 は画面ごとに、より詳しい説明のためのヘルプ画面を用意しています。表示内容の 説明はヘルプ画面を参照してください。

【手順】

それぞれの画面表示中に、右上の「?ヘルプ」- 「この画面のヘルプ」を選択してください。

1.2. 画面を更新する

【説明】

ISM は一部の画面を除き画面表示の際に情報取得を行います。各画面を表示している間は画面に含まれる情報の自動更新は行なわれません。最新の状態を表示したい場合は画面更新操作を行って画面を更新してください。

【手順】

更新ボタン(2)をクリックすると、情報を再取得し画面が更新されます。

2. 事前設定

ISM はデータセンター、フロア、ラック、ノードの4階層で管理します。それぞれ次のような意味を持ちます。

■ データセンター データセンターは建屋に相当する階層です。その中に複数のフロアが存在するモ デルをイメージしています。

■ フロア

フロアは複数のラックが置かれているスペースをイメージした階層です。 フロアビューはダッシュボードに表示させることができます。 また 3D ビューはフロア単位で 3D グラフィック表示をします。

- ラック ラックは複数の管理対象機器(ノード)が搭載されているサーバラックをイメージ した階層です。
- ノード
 管理対象の機器です。

各階層の中の登録は次の手順で行います。

- ① データセンターの登録
- ② フロアの登録(フロアが所属するデータセンター内に登録)
- ③ ラックの登録(ラックが所属するフロア内に登録)
- ④ フロア内にラックを配置(フロア内のラックの設置位置を登録)
- ⑤ ノードの登録(ラック内にノードを登録)

2.1. データセンターを登録する

【説明】

データセンター施設の建屋を表現する階層である「データセンター」を登録します。

- 1. グローバルナビゲーションメニューから[管理]-[データセンター]を選択し、[データセンター]スト]画面を表示します。
- 2. ボタンを選択し、[データセンター / フロア / ラック登録]ウィザードを表示します。
- 3. [登録対象]で[データセンター]を選択します。
- 4. 設定項目を入力し、[登録]ボタンを押します。設定項目の説明はヘルプ画面を参照し てください。

ヘルプ画面:

[管理]→[「データセンター」画面]→[データセンターリスト]→[データセンター /フロア/ラック登録]

以上でデータセンター登録は完了です。データセンターの登録を完了すると、当該の データセンターが[データセンターリスト]画面に表示されます。

2.2. フロアを登録する

【説明】

データセンター施設内のマシンルームを表現する階層である「フロア」を登録します。 【手順】

- 1. [データセンターリスト]画面で、 ボタンを選択し、[データセンター / フロア / ラック登録]ウィザードを表示します。
- 2. [登録対象]で[フロア]を選択します。
- 3. 設定項目を入力し、[登録]ボタンを押します。設定項目[データセンター]には[1.1 デ ータセンター登録]で登録したデータセンターを指定します。その他の設定項目ヘル プ画面を参照してください。

ヘルプ画面:

[管理]→[「データセンター」画面]→[データセンターリスト]→[データセンター /フロア/ラック登録]

 ヘルプの[管理]→ [「データセンター」画面]→[データセンターリスト]→[データセン ター/フロア/ラック登録]と移動し、[データセンター/フロア/ラック登録]を参照してく ださい。

以上でフロア登録は完了です。フロアの登録が完了すると、当該のフロアが[データセン ターリスト]画面に表示されます。

2.3. ラックを登録する

【説明】

フロア内のサーバラックを表現する階層である「ラック」を登録します。

- 1. [データセンターリスト]画面で、 ボタンを選択し、[データセンター / フロア / ラック登録]ウィザードを表示します。
- 2. [登録対象]で[ラック]を選択します。
- 3. 設定項目を入力し、[登録]ボタンを押します。設定項目[データセンター]、[フロア] には[1.1 データセンターを登録する]、[1.2 フロアを登録する]で登録したデータセン

ター、フロアを指定します。その他の設定項目の説明はヘルプ画面を参照してください。

ヘルプ画面:

[管理]→[「データセンター」画面]→[データセンターリスト]→[データセンター /フロア/ラック登録]

以上でラック登録は完了です。ラックの登録が完了すると、当該のラックが[データセンターリスト]画面に表示されます。

2.4. フロア内にラックを配置する

【説明】

フロア内にラックを配置します。

【手順】

- 1. [データセンターリスト]画面で、ラックを配置するフロアを選択し、[フロア詳細]画 面を表示します。
- 2. [アクション]ボタンから[ラック位置設定]を選択し、[ラック位置設定]ウィザードを表示します。
- 3. [追加]ボタンを選択し、[未配置ラック追加]ウィザードを表示します。
- 4. 追加するラックを選択し、[追加]ボタンを押します。
- 5. ラックの位置を設定し、[適用]ボタンを押します。ラック位置の設定方法はヘルプ画 面を参照してください。

ヘルプ画面:

[管理]→[「データセンター」画面]→[「フロア詳細」画面]→[ラック位置設定]

以上でラックの配置は完了です。ラックの配置が完了すると、[フロア詳細]画面にラックが 表示されます。

2.5. ノードを登録する

【説明】

ノード登録はネットワーク内に存在するノードを検出して登録する方法と、ノードの情報 を直接入力して登録する方法があります。ネットワーク内のノードを検出して登録する方 法はサーバのみ実行できます。

ISM への登録情報とノード内の登録情報が一致しない場合、ISM の機能が制限される場合があります。

- 1. グローバルナビゲーションメニューから[登録]を選択し、[ノード登録]画面を表示し ます。
- 2. [アクション]ボタンから[手動検出]を選択し、[手動検出]ウィザードを表示します。
- 3. 設定項目を入力し、[実行]ボタンを押します。
 - IP アドレス検出範囲 : 検索対象とする範囲を IP アドレスで指定
 - ・アカウント : IPMI 固定
 - アカウント名 : iRMC のアカウント名
 - ・パスワード : iRMC アカウントのパスワード
 - ポート番号 : IPMI のポート番号 (デフォルト 623)
- 4. サーバが検出されると、[検出ノードリスト]画面に出力されます。サーバの検出には 時間がかかりますが、検出ステータスは自動更新されません。更新ボタンをクリック して画面を更新してください。
- 5. ステータスが[Complete]と表示されたら、[検出ノードリスト]タブを選択します。
- 6.登録するノードのチェックボックスを選択します。
- 7. [検出ノードリスト]画面の[アクション]ボタンから[検出ノード登録]を選択し、[ノー ド登録]ウィザードを表示します。
- 8. [ノード登録]ウィザードに従い、設定項目を入力します。設定項目の説明はヘルプ画 面を参照してください。

ヘルプ画面: [登録]→[「登録」画面](c)検出ノードリスト→[検出ノード登録]

以上でノード登録は完了です。ノード登録が完了すると、当該のノードは[検出ノードリスト] 画面から消去されます。

2.5.2. ノードを直接登録する

- 1. グローバルナビゲーションメニューから[登録]を選択し、[ノード登録]画面を表示し ます。
- 2. [アクション]ボタンから[登録]を選択し、[ノード手動登録]ウィザードを表示します。
- 3. [ノード手動登録]ウィザードに従い、設定項目を入力します。設定項目の説明はヘル プ画面を参照してください。

ヘルプ画面:

[登録]→[「登録」画面](c)検出ノードリスト→[登録]

4. [ノード手動登録]ウィザードの[1. ノード情報]において、[アカウント]の設定項目の 説明は以下の通りです。

<[ノードタイプ]で server を選択した場合>

- IPMI : IPMI でノードにアクセスしない場合は、チェックボックスを オフにします(デフォルト:オン)
- ポート番号 : IPMI のポート番号 (デフォルト 623)
- アカウント名 : iRMC のアカウント名
- パスワード : iRMC アカウントのパスワード

<[ノードタイプ]で switch または storage を選択した場合>

- SSH : SSH でノードにアクセスしない場合は、チェックボックスを オフにします(デフォルト:オン)
- ポート番号 : SSH のポート番号 (デフォルト: 22)
- アカウント名 : switch または storage のアカウント名
- パスワード : switch または storage のアカウントのパスワード
- SNMP : SNMP でノードにアクセスしない場合は、チェックボックス をオフにします(デフォルト:オン)
- バージョン : SNMP のバージョン
- ポート番号 : SNMP のポート番号 (デフォルト: 161)
- SNMP コミュニティ: switch または storage の SNMP コミュニティ名

<[ノードタイプ]で other を選択した場合>

- IPMI	: IPMI でノードにアクセスする場合は、チェックボックスを
	オンにします(デフォルト:オフ)

- ポート番号 : IPMI のポート番号 (デフォルト 623)
- アカウント名 : iRMC のアカウント名
- ・パスワード : iRMC アカウントのパスワード
- SSH : SSH でノードにアクセスする場合は、チェックボックスを オンにします(デフォルト:オフ)
- ポート番号 : SSH のポート番号 (デフォルト: 22)
- ・アカウント名 :ノードのアカウント名
- パスワード : ノードのアカウントのパスワード
- SNMP : SNMP でノードにアクセスする場合は、チェックボックス をオンにします(デフォルト:オフ)
- バージョン : SNMP のバージョン
- ポート番号 : SNMP のポート番号 (デフォルト: 161)

グローバルナビゲーションメニューから[管理]-[ノード]を選択し、[ノードリスト]画

[・]SNMP コミュニティ:ノードの SNMP コミュニティ名

面を表示します。

なお、ISM に登録されているノード数により、ノードリストが表示されるまで時間が かかる場合があります。

- 5. 対象となるノードに OS がインストールされている場合は、対象となるノードを選択 します。
- 6. ノード情報表示画面から[0S]タブを選択します。
- 7. 下側[アクション]-[0S 情報編集]を選択します
- 8.0S情報編集画面の設定内容は以下のとおりです。
 - OS タイプ : OS の種類を選択します
 - OS バージョン : OS の版数を選択します
 - OS IP アドレス : IP のバージョンを設定した後、OS 管理ポートの IP
 - アドレスを入力してください(IPv4/IPv6 形式に対応しています)
 - -ドメイン名 :ドメイン名を FQDN で入力します
 - -アカウント : 管理用アカウントを入力します
 - パスワード : 管理用アカウントのパスワードを入力します
 - パスワード(確認):管理用アカウントのパスワードを入力します
 - OS 接続ポート番号: OS に接続するためのポート番号を入力します
 Windows の場合は WinRM サービスのポート番号(デフォルト 5986)、Linux の場合は
 SSH サービスのポート番号(デフォルト 22)を入力してください。入力されない場合はデフォルトポート番号が設定されます。
- 9.0Sアカウント情報の入力を完了後、適用を選択します

以上でノード登録は完了です。ノード登録が完了すると、当該のノードは[ノードリスト] 画面に表示されます

2.6. ネットワーク接続を設定する

【説明】

ネットワークマップにおいて、LAN ケーブルの接続状態を設定します。ノードのネット ワークポートで LLDP 機能が有効になっている場合は、ISM が自動的にノード間の接続 状態を取得してネットワークアップ上に接続を表示しますが、LLDP がサポートされてい ないか、無効になっているポートに対しては検出されない接続を追加設定します。

- グローバルナビゲーションメニューから[管理]・[ネットワークマップ]を選択し、[ネットワークマップ表示]画面を表示します。
 なお、ISM に登録されているノード数により、ノードリストが表示されるまで時間がかかる場合があります。
- 2. [アクション]ボタンから[ネットワーク管理情報の更新]を選択し、[はい]を選んで実行 します。

rverView Infrastructure Ma	nager				
ッシュボード 登録	管理	イベント/タスク >	ログ > 各種設定 >		S
ネットワークノードリスト	<	通常表示	blade-server1-mmb1	ON	/OFF アクション ∽
▶ 闘●サーバ	^	blade-server1-chassis	^		^
blade-server1-mmb1				物理サーバ情報	>
blade-server1-mmb2		> 🍋 blade-server1-server1		物理サーバク・	
blade-server1-server1		N B blade convert mmb1		blade-server1-mmb	1
linuxhost-1		biade-server1-mmb1		▼ラームステータス:	
✓ IIIIS LANスイッチ				↓ モデル名:	
blade-server1-switch1		> 🔥 linuxhost-1		PRIMERGY BX900 M ラック名:	lanagement Blade
				未設定 ラック内位置:	
				未設定 スロット番号:	
				3 IPアドレスバージョン:	
				V4 IPアドレス:	
				192.168.123.17 ホスト名: 主訳で	
™ rackswitch-2				木設上 OSタイプ: 主設定	
irackswitch-3			~	不設定 OSバージョン: 未設定	
SBAX3-21		<	>	ポート数: 2	~
	~	100%	+	<	
3.[表示モード] [: フ	プルダウ 表示モー °ルダウン	7ンメニューで[手重 ^{ド]} メニュー	カ接続編集]を選択	[ネットワ します。	リークマップ表示
3.[表示モード] [: フ	プルダウ 表示モート °ルダウン Nader	7ンメニューで[手重 ド] メニュー	b接続編集]を選択	[ネットワ します。	ワークマップ表示 pipistrator × 印町
3.[表示モード] [i rverView Infrastructure Ma ドシュホード 登録	プルダウ 表示モー [°] ルダウン nager	7ンメニューで[手重 ド] メニュー 1/121/922 、	b接続編集]を選択 Language ログ マ 各種設定 マ	[ネットワ します。 ② ~ルブ > ISMAdm	ワークマップ表示 ninistrator × FUjiTSU ご
9. [表示モード] [: ッ verView Infrastructure Ma シュホード 登録	プルダウ 表示モー [°] ルダウン nager 管理、	7ンメニューで[手重 ド] メニュー 1 ハント/9スク 、	biade-server1-mmb1	[ネットワ します。 ② ~ルブ × ISMAdm	アークマップ表示 ninistrator × FUĴITSU ご /OFF アクシ∋> ×
3. [表示モード] [: フ rverView Infrastructure Ma ドシュポード 登録 ネットワークノードリスト	プルダウ 表示モー [°] ルダウン nager ^{管理、}	7ンメニューで[手重 ド] メニュー イベント/9スク 、 <mark> 通常変素</mark> VLAN括股定表示 IJングアグリゲ-Saン	b接続編集]を選択 Language ログ マ 各種設定 マ blade-server1-mmb1	[ネットワ !します。 ② ~ルゴ マ ISMAdm ✓ ON	1ークマップ表示 ninistrator × FUĴTSU 2 /OFF 7753> ×
3. [表示モード] [i 7 rverView Infrastructure Ma ジュホード 登録 キットワークノードリスト 、 職 サーバ	プルダウ 表示モー パルダウン nager 管理、	7 ンメニューで[手重 ド] メニュー 1 ペント/9スク ~ <mark>通常表示</mark> VLAN一括設定表示 リンのアクリゲーション 手動接続編集 chassis	blade-server1-mmb1	[ネットワ します。 ⑦ ~ルブ × ISMAdn 「 物理サーバ情報	7ークマップ表示 ninistrator × FUjîTSU ご /OFF アクション × 、 ^
. [表示モード] [^[] マ verView Infrastructure Ma シュポード 登録 ペットワークノードリスト マ 能っサーバ この blade-server1-mmb1	プルダウ 表示モー [°] ルダウン nager	7 ンメニューで[手重 ド] メニュー 1 ペント/9スク ~ <mark> 選挙表示</mark> リンケアクリゲーション 手動接続編集 ・ し blade-server1-server1	b接続編集]を選択 Language ログ マ 各種設定 マ blade-server1-mmb1	[ネットワ (します。 ② ~ルブ ▼ ISMAdm 「 物理サーバ情報	ninistrator × FUjjīrSU 2 /OFF アクション ×
. [表示モード] [: フ verView Infrastructure Ma シュホード 登録 キットワークノードリスト マ 記っサーバ この blade-server1-mmb1 この blade-server1-mmb1	プルダウ 表示モー) ^ペ ルダウン nager	7 ンメニューで[手重 ド] メニュー / ハント/9スク ~ //////// ////// ////// 手動接続編集 chassis // 、 blade-server1-server1	b接続編集]を選択 Language ログ マ 各種設定 マ blade-server1-mmb1	[ネットワ します。 ② ヘルブ > ISMAdm 物理サーバ情報 物理サーバ右: blade-server1-mmb	7 <i>ークマップ表示</i> ninistrator × FUJITSU 2 /OFF アクション × 1
. [表示モード] [i マ verView Infrastructure Ma シュホード 登録 たットワークノードリスト マ Wey サーバ Wey blade-server1-mmb1 Wey blade-server1-mmb2 Wey blade-server1-mmb2	プルダウ 表示モー [°] ルダウン nager	7 ンメニューで[手重 ド] メニュー イベント/9スク ~ <u> 「 「 「 「 」 、 、 」 、 」 、 」 、 」 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 </u>	b接続編集]を選択 Language ログ × 各種設定 × blade-server1-mmb1	[ネットワ します。 ⑦ ヘルプ マ ISMAdn 物理サーバ情報 物理サーバ名: blade-server1-mmb ステークス:	ninistrator × FUjiTSU こ /OFF アクション × 1
 [表示モード] [ま示モード] ア rverView Infrastructure Ma マンボード 登録 マンボード しかいていていていていていていていていていていていていていていていていていていて	プルダウ 表示モー [°] ルダウン nager	7 ンメニューで[手勇 ド] メニュー 1/ペント/タスク ~	b接続編集]を選択 Language ログ マ 各種設定 マ Diade-server1-mmb1	[ネットワ !します。 ? ヘルプ マ ISMAda 物理サーバ情報 物理サーバ名: blade-sever1-mmb ステータス: アラームステータス:	1 ninistrator × FUJITSU 2 /OFF アクション × 1
 (表示モード) (表示モード) マ verView Infrastructure Ma シュホード 登録 キットワークノードリスト Wile サーバ blade-server1-mmb1 blade-server1-mmb1 blade-server1-mmb1 blade-server1-server1 	プルダウ 表示モー パルダウン nager 管理、	7 ンメニューで[手重 ド] メニュー イベント/9スク ~ 「 「 「 」シのアグリビーション 手動接続編集 ト blade-server1-server1) し blade-server1-mmb1	b接続編集]を選択 Language ログ	[ネットワ します。 ⑦ ヘルプ × ISMAdn 物理サーバ情報 物理サーバ情報 物理サーバ名: blade-server1-mmb ステータス: ♡ アラームステータス: モデル名: PRIMERCY B2900 M ==m/26:	ninistrator × FUjiTSU 2 /OFF アクション × 1 anagement Blade
S. [表示モード] [: フ rverView Infrastructure Ma ドシュボード 登録 ネットワークノードリスト 、 脳ッ サーバ 、 blade-server1-mmb1 、 blade-server1-mmb2 、 blade-server1-mmb2 、 blade-server1-server1 、 blade-server1-server1	プルダウ 表示モー [°] ルダウン nager	7 ンメニューで[手重 ド] メニュー VAN-括定表示 リングアグリゲーション 手動技統編集 トロー blade-server1-server1 > しblade-server1-mmb1	b接続編集]を選択 Language ログ ・ 各種設定 ・ blade-server1-mmb1	[ネットワ]します。 ⑦ ~ルブ ▼ ISMAdm ⑦ 型サーバ情報 物理サーバ情報 物理サーバ情報 物理サーバ名: blade-server1-mmb ステータス: ⑦ アラームステータス: 『アラームステータス: 『アラームステータス: 『アラームステータス: 『アラームステータス: 『アラームステータス: 『アラームステータス: 『アラームステータス:	ninistrator × FUjîTSU こ /OFF アクション × 1 anagement Blade
 [表示モード] [ま示モード] マ verView Infrastructure Ma シュホード 登録 シュホード 登録 トットワークノードリスト マ 助ade-server1-mmb2 動 blade-server1-mmb2 動 blade-server1-mmb2 動 blade-server1-mmb2 動 blade-server1-server1 転 blade-server1-server1 転 blade-server1-server1 転 blade-server1-switch1 (EX2000-112) 	プルダウ 表示モー パノダウン nager	ハンメニューで[手重 ド] メニュー / ハント/タスク ~ / NAN一括設定表示 リンクアクリビーション 手動接続編集 Chassis ♪	b接続編集]を選択 Language ログ マ 各種設定 マ Diade-server1-mmb1	[ネットワ !します。 ⑦ ヘルプ マ ISMAdm ⑦ ペルプ マ ISMAdm ⑦ マーハズ (1) ⑦ ペルプ マ ISMAdm ⑦ マーハズ (1) ⑦ マーハズ (2) ⑦ マーノズ (2) ⑦ マーノズ (2) ⑦ マークス: ⑦ アラームステータス: ④ マークス: ⑦ アラームステータス: ④ マークス: ⑦ アラームステータス: ④ マークス: ⑦ マックス: 『アラームステータス: ④ マークン(2) 『 マックの(2) 『 マックの(2)	ninistrator × FUJITSU 2 /OFF アクション × 1 anagement Blade
S. [表示モード] verView Infrastructure Ma verView Infras	プルダウ 表示モー パルダウン nager 管理 く	7 ンメニューで[手勇 ド] メニュー	b接続編集]を選択 Language ログ	[ネットワ します。 ⑦ ヘルプ × ISMAdn ⑦ ヘルプ × ISMAdn ⑦ 小ブ × ISMAdn ⑦ 小 ブ × ISMAdn ⑦ 小ブ × ISMAdn ⑦ 小ブ × ISMAdn ⑦ 小 ブ × ISMAdn ⑦ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ninistrator × FUjîTSU 2 /OFF アクション × 1 anagement Blade
 [表示モード] [ジュボード] ジュボード] 登録 キットワークノードリスト マットワークノードリスト マットリーズ マット	プルダウ 表示モー [°] ルダウン nager	7 ンメニューで[手重 ド] ・メニュー VLAN-括約工表示 リング炉リゲーション 手動技統編集 ・ しlade-server1-server1 ・ しlade-server1-server1	b接続編集]を選択 Language ログ	[ネットワ] します。 ② ヘルプ マ ISMAda 御理サーバ情報 物理サーバ名: blade-server1-mmb ステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラークス: マラームステータス: マラームステータス: マラークス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラークス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラークス: マラークス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラークス: マラームステータス: マラームステータス: マラークス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラクス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス: マラームステータス:	ninistrator × FUJITSU 2 /OFF アクション × 1 anagement Blade
 [表示モード] [ま示モード] [: 7 rverView Infrastructure Ma ジュホード 登録 ギットワークノードリスト * 減っサーバ * 減っサーバ * 以っかしたいのでの * blade-server1-mmb1 * blade-server1-mmb1 * blade-server1-mmb1 * blade-server1-mmb1 * blade-server1-server1 * blade-server1 * blade-server1	プルダウン 表示モート パルダウン nager 管理 く	7 ンメニューで[手重 ド] メニュー イベント/9スク ~	b接続編集]を選択 Language ログ マ 各種設定 マ Diade-server1-mmb1	[ネットワ].します。 ⑦ ヘルプ マ ISMAdm ⑦ 埋サーバ情報 物理サーバ情報 物理サーバ者: blade-server1-mmb ステータス: ⑦ アラームステータス: ⑦ アクター	ninistrator × FUJITSU 2 /OFF アクション × 1 anagement Blade
. [表示モード] [: // (/ (/	プルダウ 表示モード パルダウン nager 管理 く	7 ンメニューで[手重 ド] メニュー 1 ペント/9スク ~	b接続編集]を選択 ログ・ 各種設定、 blade-server1-mmb1	[ネットワ します。 ⑦ ヘルプ × ISMAdm ⑦ ヘルプ × ISMAdm ⑦ マルプ × ISMAdm ⑦ マーハ(情報 ⑦ マーハ(情報 ⑦ マーハ(情報 ⑦ マーハ(情報) ⑦ マーハ(⑦ マーハ(⑦ マーハ(⑦ マーハ(⑦ マー)) ⑦ マーハ(⑦ マーハ(⑦ マー)) ⑦ マーク) ⑦ マー ⑦ マーク) ⑦ マーク) ⑦ マー ⑦ マー ⑦ マー ⑦ マー ⑦ マー ⑦ マー ⑦ マ	ninistrator × FUjîTSU こ /OFF アクション × 1 anagement Blade
 [表示モード] [表示モード] [? ? <li?< li=""> ? ?</li?<>	プルダウ 表示モー ^の ルダウン nager 管理 く	ハンメニューで[手重 ド] メニュー /ハント/タスク ~ /ハー括設定表示 リンクアクリビーション 手動接続編集 hassis ♪	b接続編集]を選択 Language ログ く 各種設定 く Dlade-server1-mmb1	[ネットワ] します。 ⑦ ヘルプ マ ISMAdm ⑦ ペルプ マ ISMAdm ⑦ マーノバ情報 ⑦ マーノン 『 マーノバ情報 ⑦ マーノン 『 マーノバ情報 ⑦ マーノン 『 マー 『 マーノン 『 マーノン 『 マーノン 『 マーノン 『 マー 『 マーノン 『 マー 『 マーン 『 マー 『 マー 『 マーン 『 マー 『 マーン 『 マーン 『 マー 『 マーン 『 マー	ninistrator × FUJITSU こ /OFF アクション × 1 anagement Blade
 [表示モード] [: 7 verView Infrastructure Ma シュホード 登録 キットワークノードリスト * We サーバ * We サーバ * Dade-server1-mmb1 ® blade-server1-mmb1 ® blade-server1-mmb1 ® blade-server1-mmb1 ® blade-server1-server1 © blade-server1-server1-server1 © blade-server1-server1-server1 © blade-server1-server1-server1 © blade-server1-server1-server1-server1 © cFX2000-12 © cFX2000-12 © cFX200-12 © cFX2000-12 © cFX200-12 © cF	プルダウ 表示モー ^の ルダウン nager 管理 、	ハンメニューで[手勇 ド] メニュー /ハント/9スク ↓ <u>選維表示</u> リンクアグリゾーション 手動接続編集 blade-server1-server1 >	b接続編集]を選択 Language ログ マ 各種設定 マ Diade-server1-mmb1	[ネットワ !します。 ⑦ ヘルプ × ISMAdn ⑦ 型サーバ情報 ⑦ 型サーバ情報 ⑦ 型サーバ情報 ⑦ ブラームステータス: ⑦ アラームステータス: ⑦ アラームステータス: ⑦ アラームステータス: ⑦ アラームステータス: ⑦ アラームステータス: 『 アアトレス(-ジョン: 本設定 の5パージョン: 本設定 の5パージョン: 本設定 の5パージョン: 本設定 の5パージョン: 本設定	ninistrator × FUjii SU 2 /OFF アクション × 1 anagement Blade

- 4. 接続するノードのアイコン内の >マークを選択し、ネットワークポート(●)を表示します。
- 5. 接続する 2 つのポートを選択し、[追加]ボタンを押してください。設定した結線がグ レーになります。
- 6. 設定する接続の数だけ手順3.~5.を繰り返します。
- 7. [ネットワークマップ表示]画面で、[アクション]ボタンから[編集内容保存]を選択しま す。
- 8. [編集内容保存]画面で設定した接続の内容を確認し、[保存]ボタンを選択します。
- 9. [表示モード]で[通常表示]を選択します。

以上でネットワーク接続設定は完了です。

2.7. **アラーム**設定をする

【説明】

ノード異常発生時に検出したアラーム(ノードから受信した各種トラップや ISM の監視 機能等により検出された各種イベント)をもとに ISM の外部へ通知する設定を行います。 通知の方法としては任意のスクリプトを実行するまたはメールを送信することが可能です。 また、メールを送信する場合には SMIME によるメール本文の暗号化を選択できます。

【手順】

アラーム設定を行う場合、アクション(通知方法)設定⇒アラーム設定の順で行います。

通知方法としてスクリプト実行またはメール送信(暗号化あり)を使用する場合、アクション設定を行う前に事前準備が必要です。メール送信を使用し、かつ暗号化が不要な場合は手順2へ進んでください。

<スクリプトを実行する場合>

- ① スクリプトファイルを用意します。
- ② FTP を使って ISM-VA へ転送します。FTP で ftp://<ISM-VA の IP アドレス>/< ユーザグループ名>/ftp/actionscript にアクセスし、スクリプトファイルを格納し ます。
- ③ ISM-VA のコンソールに administrator ユーザーでログインします。
- ④ コマンド ismadm event import -type script を実行します。コマンドを実行する と、各ユーザーが FTP に格納したスクリプトファイル全てについて一括でイン ポート処理を行います。

<暗号化したメールを送信する場合>

- 個人証明書を用意します。このとき証明書が PEM 形式であることと、証明書と 宛先メールアドレスの対応がとれていることを確認してください。
- ② FTP を使って ISM-VA へ転送します。FTP で ftp://<ISM-VA の IP アドレス>/<

ユーザグループ名>/ftp/cert にアクセスし、証明書を格納します。

- ③ ISM-VA のコンソールに administrator ユーザーでログインします。
- ④ コマンド ismadm event import -type cert を実行します。コマンドを実行すると、
 各ユーザーが FTP に格納した証明書全てについて一括でインポート処理を行います。
- 2. グローバルナビゲーションメニューから[各種設定]-[アラーム]を選択し、 [アラーム 設定]画面を表示します。
- 3. [アクション]を選択し[アクションリスト]画面を表示します。
- 4. [アクション]ボタンから[追加]を選択し、[アクション追加]ウィザードを表示します。
- 設定項目を入力し、[適用]ボタンを選択します(設定項目の入力はヘルプの[各種設定]
 →[「アラーム」画面]→[「アクション」画面]→[追加(アクション)]と移動し、[追加(アクション)]ヘルプを参照してください)。
- アクションの追加が完了したら、当該のアクションが[アクションリスト]画面に 表示されます。
- 7. [アラーム]画面で、[SMTP サーバ]を選択し[SMTP サーバ設定]画面を表示します (メールを送信しない場合は不要のため、手順 11 へ進んでください)。
- 8. [アクション]ボタンから[編集]を選択し、[SMTP サーバ設定]ウィザードを表示します。
- 9. 設定項目を入力し、[適用]ボタンを選択します(設定項目の入力はヘルプの[各種設定]
 →[「アラーム」画面]→[「SMTP サーバ」画面]→[編集(SMTP サーバ)]と移動し、
 [編集(SMTP サーバ)]ヘルプを参照してください)。
- 10. SMTP サーバの設定が完了したら、当該の設定が[SMTP サーバ設定]画面に表示されます。
- 11. [アラーム]画面で、[アラーム共通設定]を選択し[アラーム共通設定]画面を表示し ます。
- 12. [アクション]ボタンから[編集]を選択し、[アラーム共通設定編集]ウィザードを表示します。
- 13. 設定項目を入力し、[適用]ボタンを選択します(設定項目の入力はヘルプの[各種設定]→[「アラーム」画面]→[「アラーム共通設定」画面]→[編集(アラーム共通設定)]
 と移動し、[編集(アラーム共通設定)]ヘルプを参照してください)。
- 14. [アラーム]画面で、[アラーム]を選択し[アラームリスト]画面を表示します。
- 15. [アクション]ボタンから[追加]を選択し、[アラーム追加]ウィザードを表示します。
- [アラーム追加]ウィザードに従い、設定項目を入力します(設定項目の入力はヘル プの[各種設定]→[「アラーム」画面]→[追加(アラーム)]と移動し、[追加(アラー ム)]ヘルプを参照してください)。
- 17. アラームの追加が完了したら、当該のアラームが[アラームリスト]画面に表示され ます。
- 以上でノード異常の通知設定が完了です。

2.8. ログ収集スケジュールを設定する

【説明】

ISM は設定したスケジュール(例:毎日23時)に従って、定期的にノードのログを収集 して蓄積しておくことができます。ノード毎に異なる設定が可能です。また設定したスケ ジュール内容を任意のタイミングで実行させてログ収集することもできます。

【手順】

- グローバルナビゲーションメニューから[管理]-[ノード]を選択し、[ノードリスト]画 面を表示します。 なお、ISMに登録されているノード数により、ノードリストが表示されるまで時間が かかる場合があります。
- 2. ノードリストから、設定対象のノードを選択します。
- 3. [ログ設定]タブを選択します。
- 4. [ログ設定]タブ内の[アクション]ボタンから[ログ収集設定編集]を実行します。
- 5. 設定画面内で必要な設定を入力し、[適用]ボタンをクリックします。
 - ・[スケジュールタイプ]を選択後、[追加]ボタンをクリックしてログ収集日時を 指定してください。
 - ・[スケジュール実行有効化]にチェックを付けてください。チェックが無い場合、 作成したスケジュールは実行されません。
 - ・ノードがサーバの場合、ノードの OS 情報を正しく設定すると、ログ収集対象 として[オペレーティングシステムログ]、[ServerView Suite ログ]が選択可能 になります。
- 6. 以上の操作で、指定した日時に対象ノードのログが自動的に収集され、ISM 内に蓄積 されるようになります。
- 設定した内容に従って任意のタイミングでログ収集を行う場合は、[ログ設定]タブ内の[アクション]ボタンから[ログ収集実行]を実行すると、ログ収集が実行されます。[ロ グ収集実行]の作業は ISM のタスクとして登録されます。グローバルナビゲーション メニューから[イベント/タスク]・[タスク]を選択して、タスクの完了を確認してください。

2.8. ノードを削除する

【説明】

登録されているノードを削除します。

【手順】

1. グローバルナビゲーションメニューから[管理]を選択し、[ノードリスト]画面を 表示します。

なお、ISM に登録されているノード数により、ノードリストが表示されるまで時間がか

かる場合があります。

2. 削除するノードを選択します。

3. [アクション]ボタンから[ノード削除]を選択します。

4. 削除するノードが正しいことを確認し、[削除]を押します。

5. ノード削除が完了したら、当該のノードは[ノードリスト] 画面から削除されます。 以上でノード削除は完了です。

2.9. ラックを削除する

【説明】

登録されているラックを削除します。

【手順】

- 1. グローバルナビゲーションメニューから[データセンター]を選択し、[データセンター リスト]画面を表示します。
- 2. 削除するラックを選択します。
- [アクション]ボタンから[ラック削除]を選択します。
 ラック削除時の留意事項はヘルプを参照してください。
 ヘルプ画面:
 [管理]→[「データセンター」画面]→[『ラック詳細』画面]→[ラック削除]

4. 削除するラックが正しいことを確認し、[削除]ボタンをクリックします。

2.10. フロアを削除する

【説明】

登録されているフロアを削除します。

【手順】

- 1. [データセンターリスト]画面で、削除するラックを選択します。
- [アクション]ボタンから[フロア削除]を選択します。
 フロア削除時の留意事項はヘルプを参照してください。
 ヘルプ画面:
 [管理]→[「データセンター」画面]→[『フロア詳細』画面]→[フロア削除]
- 3. 削除するフロアが正しいことを確認し、[削除]ボタンをクリックします。

2.11. データセンターを削除する

【説明】

登録されているデータセンターを削除します。

- 1. [データセンターリスト]画面で、削除するデータセンターを選択します。
- [アクション]ボタンから[データセンター削除]を選択します。
 データセンター削除時の留意事項はヘルプを参照してください。
 ヘルプ画面:
 [管理]→[「データセンター」画面]→[『データセンター詳細』画面]→[データセンター削除]
- 3. 削除するデータセンターが正しいことを確認し、[削除]ボタンをクリックします。

3. ノードの監視

3.1. ダッシュボードを操作する

ダッシュボードは、ステータスやログなどの各種情報を表示するウィジェットを表示しま す。利用者の用途に合わせてウィジェットを選択し、必要となる情報を参照することがで きます。

ダッシュボードに表示させるウィジェットの選択方法はヘルプ画面[ダッシュボード] – [ダ ッシュボードのカスタマイズ]を参照してください。

3.2.ノードの状態を確認する

【説明】

ノードの状態はダッシュボードの[ステータス]ウィジェットおよび[ノードリスト]画面で 確認することができます。

【手順】

1. ノードの状態はダッシュボードの[ステータス]ウィジェットで確認します。



[ダッシュボード]画面

- 2. [ステータス]ウィジェットの詳細な説明はヘルプ画面を参照してください。 ヘルプ画面:
 - [ダッシュボード]→[ダッシュボードウィジェット]→[ステータス]と移動し、
 - [ステータス]ヘルプを参照してください。
- 3. [ステータス]ウィジェットで、状態を確認するステータス(Error、Warning、
- Maintenance、Normal、Unknown)を選択し、[ノードリスト]画面を表示します。
 - なお、ISMに登録されているノード数により、ノードリストが表示されるまで時間が かかる場合があります。
 - 4. 当該ステータスのノードが表示されます。(表示内容の説明はヘルプの[管理]→
 [「ノード」画面]と移動し、[「ノード」画面]ヘルプを参照してください)
 5. 以上でノード状態の表示は完了です。

3.3.ノードの通知情報を表示する

【説明】

ノードのイベント発生およびノード状態はダッシュボードの[アラームステータス] ウィジェットおよび[ノードリスト]画面で確認することができます。

【手順】

1.グローバルナビゲーションメニューから[ダッシュボード]を選択し、[ダッシュボード] 画面を表示します。



2. [アラームステータス] ウィジェットの説明はヘルプの[ダッシュボード]→

[ダッシュボードウィジェット]→[アラームステータス]と移動し、[アラームステータ ス]

ヘルプを参照してください。

3. [アラームステータス]ウィジェットで、状態を確認するステータス(Error、Warning、 Info、none)を選択し、[ノードリスト]画面を表示します。

なお、ISM に登録されているノード数により、ノードリストが表示されるまで時間が かかる場合があります。

4.当該アラームステータスのノードが表示されます。(表示内容の説明はヘルプの[管理]
 →[「ノード」画面]と移動し、[「ノード」画面]ヘルプを参照してください)
 以上でノード通知情報の表示は完了です。

3.4. ノードログを表示させる

【説明】

管理対象ノードから収集したログを時系列に並べて表示します。重大度、カテゴリ (ハードウェア、オペレーティングシステム)、管理対象ノード等の条件を指定すること により、表示するログを絞り込むことができます。

【手順】

- 1.グローバルナビゲーションメニューから[ログ]・[ノードログ]を選択し、[ノードログ メッセージリスト]画面を表示します。
- 2.ノードログの表示を絞り込む場合は、[フィルター]ボタンを選択し、[フィルター]
 ウィザードを表示します。[フィルター]ウィザードにフィルタリング条件を入力し、
 [フィルター]ボタンを押します。(フィルタリング条件の入力はヘルプの[ログ]→
 [「ノードログ」画面]→[フィルター(ノードログ)]と移動し、[フィルター(ノード
 - [「ノートロク」画面]→[ノィルター(ノートロク)]と移動し、[ノイルター(ノートログ)]へルプを参照してください)

3. [ノードログ メッセージリスト]画面に、フィルターされたノードログが表示されます。 以上でノードログの表示は完了です。

3.5.保管ログをダウンロードする

【説明】

管理対象ノードから収集したログを時系列に並べて表示します。重大度、カテゴリ (ハードウェア、オペレーティングシステム)、管理対象ノード 等の条件を指定すること により、表示するログを絞り込むことができます。

- 1.グローバルナビゲーションメニューから[ログ]-[保管ログ]を選択し、[保管ログリスト] 画面を表示します。
- 2.保管ログをダウンロードするノードのチェックボックスをオンにします。
- 3. [アクション]ボタンから[ダウンロードファイル作成]を選択し、[ダウンロードファイル 作成(保管ログ)]ウィザードを表示します。
- 4. 設定項目を入力し、[実行]ボタンを選択します。(設定項目の入力はヘルプの[ログ]→
 [「保管ログ」画面]→[ダウンロードファイル作成(保管ログ)(「保管ログ」画面)]と
 移動し、[ダウンロードファイル作成(保管ログ)(「保管ログ」画面)]ヘルプを参照してください)
- 5. ダウンロードファイルが作成されます。
- 6. [アクション]ボタンから[ダウンロードファイル確認]を選択し、[保管ログリスト] ウィザードを表示します。
- 7. [ダウンロード]ボタンを押すと手順5で作成されたダウンロードファイルファイルが コンソールにダウンロードされます。
- 以上で保管ログのダウンロードは完了です。

4. 利用シーンごとの操作

4.1. 異常が発生しているノードを確認する

【説明】

監視対象ノードの内、現在、異常が発生しているノードのみを表示することで、 異常ノードの情報が確認し易くなります。

ISM はノードの状態をリアルタイムに画面更新をしません。ノードの現在の状態を 表示させるためには、更新ボタンをクリックし画面を更新してください。

【手順】

1.グローバルナビゲーションメニューから[ダッシュボード]を選択します。

2.[ステータス]ウィジェットで、³⁰の右の[Error]を選択します。

3.異常が発生しているノードのみが表示されます。

4.表示された異常ノードの情報から状況の確認を行います。

3.2 対象ノードのノードログを表示する

【説明】

ノードの異常について情報収集するには、ノードログを収集/表示し異常な内容の有無を 確認します。

【手順】

1. 正確なログを表示するために、最新のログを取得する前に、過去に取得済みのログを 整理します。

グローバルナビゲーションメニューから[ログ]-[ノードログ]を選択し、[ノードログ メッセージリスト]画面を表示します。過去にノードログを表示したことがあれば、 リストにメッセージが表示されます。必要に応じてログを削除してください。

<ログの削除手順>

 ①[ノードログメッセージリスト]画面で、[アクション]ボタンから[ログ削除]を 選択し、[ログ削除]ウィザードを表示します。

②設定項目を入力し、[削除]ボタンを押します。(設定項目の入力はヘルプの[ログ]
 →[「ノードログ」画面]→[ログ削除]と移動し、[ログ削除]ヘルプを参照してください)

2.[アクション]・[ログ収集実行]を選択し、[ログ収集実行]ウィザードを表示します。 3.[選択]ボタンを押し、表示される[対象ノードの選択]画面でノードを選択します。 4.[ログ収集実行]画面の[実行]ボタンをクリックすると、収集を実行します。

5.収集はバックグラウンドで実行されるため、結果は直ちに反映されるわけではありませ

ん。更新ボタンをクリックすると、収集状況により、メッセージが収集されていれば 追加されます。

.以上でノードログの表示は完了です。

4.2. ネットワーク上の異常個所・影響箇所を確認する

【説明】

ネットワーク上の異常をネットワークマップにより視覚的に表示させることで、異常 個所とその影響範囲を確認できます。

【手順】

1.グローバルナビゲーションメニューから[管理]・[ネットワークマップ]を選択し、 [ネットワークマップ表示]画面を表示します。

なお、ISM に登録されているノード数により、ノードリストが表示されるまで時間がか かる場合があります。

ServerView Infrastructure Manager	Language	⑦ ヘルプ マ ISMAdministrator マ FUJITSU
ダッシュボード 登録 管	▲ イベント/タスク × ログ × 各種設定 ×	S
ネットワークノードリスト く	通常表示 V blade-server1-mmb1	- ON/OFF アクション >
✓ 闘●サーバ へ	blade-server1-chassis	
blade-server1-mmb1		
blade-server1-mmb2	> blade-server1-server1	物理サーバ名:
blade-server1-server1	> 👞 blade-server1-mmb1	blade-server1-mmb1 ステータス:
linuxhost-1		♥ アラームステータス:
✓ IIIO LANスイッチ		→ モデル名:
blade-server1-switch1	> 🐌 linuxhost-1	PRIMERGY BX900 Management Blade ラック名:
000-11 CFX2000-11		不設た ラック内位置: キシママ
CFX2000-12		へBXに スロット番号: 3
CFX2000-51		IPアドレスバージョン: V4
CFX2000-52		IPアドレス: 192.168.123.17
ackswitch-1		ホスト名: 未設定
rackswitch-2	\backslash	OSタイプ: 未設定
rackswitch-3	<	OSバージョン: 未設定
SBAX3-21	100% - +	ポート数: 2
SRAX3-22		
		\mathbf{N}

[ネットワークマップ表示]画面

2. 異常が発生しているノードはアイコンが赤色になっています。
 3. [アクション]ボタンから[異常の影響範囲表示]を選択します。
 4. 異常が発生しているノード間の接続が赤色で表示されます。
 以上でネットワーク上の異常個所・影響箇所の確認は完了です。

4.3. サーバを設定する

4.3.1. サーバの BIOS を設定する

【説明】

ISM に登録したサーバに対して、BIOS を設定します。

【手順】

1. BIOS 設定手順は「4.3.6. プロファイルを適用する」を参照してください。

4.3.2. サーバの iRMC を設定する

【説明】

ISM に登録したサーバに対して、iRMC を設定します。

【手順】

1. iRMC 設定手順は「4.3.6. プロファイルを適用する」を参照してください。

4.3.3. サーバに OS をインストールする

【説明】

ISM に登録したサーバに対して、OS をインストールします。 次の OS をインストールすることができます。

Windows Server

Red Hat Enterprise Linux

VMware

【手順】

1.事前の環境構築

OS インストールを行うには DHCP サーバを作成しておく必要があります。 詳細については、弊社の本製品 Web サイトを参照してください。

http://software.fujitsu.com/jp/serverviewism/

2.OS イメージの準備

OS をインストールするには、事前設定として OS イメージをリポジトリ領域に
インポートしておきます。リポジトリの管理については、ユーザーズマニュアル
2.3.2章を参照してください。

3.プロファイルの作成(または設定)

OS のインストールはプロファイルの適用により実行されます。OS をインストール するにはプロファイルの作成、または設定を行います。

4.プロファイルの適用

プロファイル適用によりプロファイルに登録した OS がインストールされます。 プロファイルの適用手順は「4.3.6. プロファイルを適用する」を参照してくだ さい。

4.3.4. ポリシーを作成する

【説明】

ノードのハードウェア設定や OS インストール時の情報の共通要素をテンプレート化 したものをポリシーと呼びます。これにより多数のノードを管理する際に共通要素は ポリシーを指定することでプロファイルへの入力を簡素化できます。このポリシーを 作成します。ポリシーの作成は任意であって、プロファイル作成時に必須ではありま せん。

【手順】

- 1.グローバルナビゲーションメニューから[各種設定]・[プロファイル]を選択し、 [プロファイル設定]画面を表示します。
- 2. [プロファイル設定]画面内で[全てのポリシー]を選択し、[全てのポリシー]画面を 表示します。
- 3. [全てのポリシー]画面内の[アクション]ボタンから[ポリシー追加]を選択し、 [ポリシー追加]ウィザードを表示します。

【BIOS のポリシーを設定する場合】

[ポリシー追加]ウィザードの[1.基本情報]画面内の[ポリシータイプ]で、[BIOS]を 選択します。

【iRMC のポリシーを設定する場合】

[ポリシー追加]ウィザードの[1.基本情報]画面内の[ポリシータイプ]で、[iRMC]を 選択します。

その他の設定項目は[ポリシー追加]ウィザードに従い入力します。(設定項目の入力は ヘルプの[各種設定]→[「プロファイル」画面(各種設定)]→[ポリシー/ポリシー グループリスト]→[ポリシー追加]と移動し、[ポリシー追加]ヘルプを参照して 4.ポリシーの追加が完了したら、当該のポリシーが[全てのポリシー]画面に表示されます。 以上でポリシー作成は完了です。

4.3.5. プロファイルを作成する

【説明】

プロファイルは、ノードのハードウェア設定やOSインストール時の設定をまとめたもので、ノード個別に作成します。

【手順】

- 1.ポリシーを作成します。ポリシーの作成手順は、「3.3.4. ポリシーを作成する」を 参照してください。なおポリシーはプロファイル作成において必須ではありません。 また作成済みのポリシーを適用することも可能です。
- 2. [プロファイル設定]画面内で[全てのプロファイル]を選択し、[全てのプロファイル] 画面を表示します。
- 3. [全てのプロファイル]画面内の[アクション]ボタンから[プロファイル追加]を選択し、 [プロファイル追加]ウィザードを表示します。
- 4. [プロファイル追加]ウィザードに従い、設定項目を入力します。 以下の説明ではポリシーを使用した操作について記述します。

【BIOS を設定する場合】

- [プロファイル追加]ウィザードの[1.基本情報]内の[BIOS ポリシー]で、上記 手順1で作成したポリシー(または流用するポリシー)を選択します。
 [1.基本情報]画面内のその他の設定項目を入力します。(設定項目の入力はヘルプ の[各種設定]→[「プロファイル」画面(各種設定)]→[プロファイル /プロファイルグループリスト]→[プロファイル追加]と移動し、[プロファイル 追加]ヘルプを参照してください)
- 2) [2.詳細]内の[BIOS]タブを選択し、設定項目を入力します。(設定項目の入力は ヘルプの[各種設定]→[「プロファイル」画面(各種設定)]→[プロファイル /プロファイルグループリスト]→[プロファイル追加]と移動し、[プロファイル 追加]ヘルプを参照してください)

【iRMC を設定する場合】

1)プロファイル追加]ウィザードの[1.基本情報]内の[iRMC ポリシー]で、上記 手順1で追加したポリシー(または流用するポリシー)を選択します。 [1.基本情報]画面内のその他の設定項目を入力します。(設定項目の入力はヘルプ の[各種設定]→[「プロファイル」画面(各種設定)]→[プロファイル *l*プロファイルグループリスト]→[プロファイル追加]と移動し、[プロファイル 追加]ヘルプを参照してください)

2)[2.詳細]内の[iRMC]タブを選択し、設定項目を入力します。(設定項目の入力は ヘルプの[各種設定]→[「プロファイル」画面(各種設定)]→[プロファイル /プロファイルグループリスト]→[プロファイル追加]と移動し、[プロファイル 追加]ヘルプを参照してください)

【OS をインストールする場合】

1)[プロファイル追加]ウィザードの[1.基本情報]内の[OS タイプ]で、インストールする OS を選択します。[1.基本情報]画面内のその他の設定項目を入力します。
 (設定項目の入力はヘルプの[各種設定]→[「プロファイル」画面(各種設定)]→
 [プロファイル/プロファイルグループリスト]→[プロファイル追加]と移動し、
 [プロファイル追加]ヘルプを参照してください)

2)[2.詳細]内の[OS]タブを選択し、設定項目を入力します。(設定項目の入力は ヘルプの[各種設定]→[「プロファイル」画面(各種設定)]→[プロファイル /プロファイルグループリスト]→[プロファイル追加]と移動し、[プロファイル 追加]ヘルプを参照してください)

3)[2.詳細]内の[OS 個別情報]タブを選択し、設定項目を入力します。(設定項目の 入力はヘルプの[各種設定]→[「プロファイル」画面(各種設定)]→[プロファイル /プロファイルグループリスト]→[プロファイル追加]と移動し、[プロファイル追加] ヘルプを参照してください)

- 5.以降、[プロファイル追加]ウィザードに従い、設定項目を入力します。(設定項目の入力 はヘルプの[各種設定]→[「プロファイル」画面(各種設定)]→[プロファイル /プロファイルグループリスト]→[プロファイル追加]と移動し、[プロファイル追加]ヘルプを参照してください)
- 6.プロファイルの追加が完了したら、当該のプロファイルが[全てのプロファイル]画面に 表示されます。

以上でプロファイル作成は完了です。

4.3.6. プロファイルを適用する

【説明】

ISM に登録したサーバに対してプロファイルを適用し、サーバの BIOS/iRMC 設定 または OS インストールを実施します。

【手順】

1.プロファイルを作成します。(プロファイルの作成手順は、「2.4.5. プロファイルを 作成する」を参照してください)

- 2.グローバルナビゲーションメニューから[管理]-[ノード]を選択し、[ノードリスト]画面 を表示します。 なお、ISM に登録されているノード数により、ノードリストが表示されるまで時間がか
 - なお、ISMに登録されているノード数により、ノードリストか表示されるまで時間かか かる場合があります。
- 3.[カラム表示]で[プロファイル]を選択します。
- 4.プロファイルを適用すべきノードをノードリストから選択します。
- 5.[アクション]ボタンから[プロファイル適用/再適用]を選択し、[プロファイル適用] ウィザードを表示します。
- 6.[プロファイル適用]ウィザードに従い、設定項目を入力します。(設定項目の入力は、 ヘルプの[管理]→[「ノード」画面]→[プロファイル適用/再適用]と移動し、
 [プロファイル適用/再適用]ヘルプを参照してください)
- 7.BIOS/iRMC 設定または OS インストールが完了したら、[ノードリスト]画面内の 当該のサーバの[ステータス]列が[適用済]と表示されます。

以上でノードプロファイル適用は完了です。

4.4. サーバのファームウェアバージョンを確認する

【説明】

ISM に登録したサーバのウェアバージョンを表示します。

【手順】

1.グローバルナビゲーションメニューから[管理]-[ノード]を選択し、[ノードリスト]画面 を表示します。

なお、ISM に登録されているノード数により、ノードリストが表示されるまで時間がか かる場合があります。

- 2 対象機器のサーバ名をクリックし、[プロパティ]を選択します。
- 3. [アクション]ボタンから[ノード情報取得]を選択し、ノード情報取得を行います。
- 4.グローバルナビゲーションメニューから[管理]-[ノード]を選択し、[ノードリスト]画面 を表示します。

なお、ISM に登録されているノード数により、ノードリストが表示されるまで時間がか かる場合があります。

- 5. [カラム表示]で[ファームウェア]を選択します。
- 6. [ノードリスト]画面内の当該のサーバの[現行バージョン]列にファームウェア バージョンが表示されます。
- 以上でサーバのファームウェアバージョン確認は完了です。

4.5. サーバのファームウェアをアップデートする

【説明】

ISM に登録したサーバのファームウェアをアップデートします。

【手順】

- 1.アップデートするファームウェアデータがインポートされていない場合は、最初に インポートを行います。インポート済みの場合は手順 7.へ進みます。
- 2. Web サイトから iRMC/BIOS のファームウェアをダウンロードします。以下のサイト から対象モデルのファームウェアをダウンロードしてください。

http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/ 3.任意のフォルダーにダウンロードしてきたファイルを格納します。ダウンロードした



👪 l ⊋ 🚯 = l	RX2530M1			_ 🗆 X
ファイル ホーム 共有	表示			^ ()
 」ピー 貼り付け 込 切り取り 「 パスのコピー」 に ショートカッ 	- トの貼り付け を動先 コピー先 単 の な の の の の の の の の の	● 「「」 新しい フォルダー プロ	עריין אין אין אין אין אין אין אין אין אין	 ■ すべて選択 ● 選択解除 ● 選択の切り替え
クリップボード	整理	新規	開く	選択
🍥 🛞 🔻 🕈 퉱 🕨 RX	2530M1	~ ¢	RX2530M1の検	索 , P
▶ 🚖 お気に入り	名前	更新日時	種類	サイズ
	ASP_Linux	2016/06/30 16:	42 ファイル フォルタ	<i>j</i>
Þ 🖳 PC	ASP_Windows	2016/06/30 16:	42 ファイル フォルタ	<i>ī</i> —
	퉬 Offline	2016/06/30 16:	<i>ī</i> —	
▷ 🗣 ネットワーク	like Recovery	2016/06/30 16:	42 ファイル フォルタ	ž—
	퉬 Remote	2016/06/30 16:	42 ファイル フォルタ	7—
	release-note_RX2530M1_PGY1188.txt	2016/06/10 10:	22 テキスト ドキュ	メント 20 KB
	】オフラインアップデート手順書.pdf	2016/03/15 15:	33 PDF ファイル	520 KB
	📄 オンラインアップデート手順書.pdf	2016/03/09 20:	38 PDF ファイル	386 KB
	」はじめにお読みください.pdf	2016/03/09 20:	38 PDF ファイル	336 KB
	リモートアップデート手順書.pdf	2016/03/15 15:	33 PDF ファイル	571 KB
	<	Ш		>
10 個の項目				i== 🖻

4. FTP を使って ISM-VA へ転送します。必ずフォルダー構造のまま転送するように してください。

エクスプローラーに、ftp://<ISM-VAのIPアドレス>/<ユーザグループ名>/ftp を 入力します。

💻 💽 🕕 = I	PC – 🗖	x
ファイル コンピューター	表示	^ 🕜
プロパティ 開く 名前の 変更 場所	マットワーク ドライブ ネットワークの の割り当て マ 場所の追加 ネットワーク	
🍥 🏵 👻 🕆 💽 ftp:	://192.168.10.19/Administrator/ftp v → PCの検索	Q
☆ お気に入り ダウンロード ダフンロード デスクトップ 愛」 最近表示した場所	▷ フォルダー (6) ▷ デバイスとドライブ (8)	
IM PC		
🗣 ネットワーク		
14 個の項目		:== 🖿

FTP フォルダーエラーが出力される場合は、フォルダー内で右クリックして「ログオン方法」を選択し、ユーザー名とパスワードを入力してログオンをクリックします。

		ログオン方法
90	この FTP サーバーにログ	オンするには、ユーザー名とパスワードを入力してください。
	FTP サーバー:	192.168.10.19
	ユーザー名(U):	administrator v
	パスワード(P):	
	ログオンしたときに、このサ	ーバーをお気に入りに追加して、簡単にそのサーバーに戻ることができます。
⚠	パスワードまたはデータをt ンコード化が実行されてい WebDAV を使用してくた	ナーバーに送信する前に、FTP によるパスワードまたはデータの暗号化またはエ ません。 パスワードおよびデータのセキュリティを保護するには、 代わりに さい。
	□ 匿名でログオンする(A) ログオン(L) キャンセル

手順2で任意のフォルダーを作成した場合は、階層構造を保ったまま、ドラックして FTPフォルダーに配置します。

🌇 l 🕞 🔝 = l	ftp	_ t	X
ファイル ホーム 共有 表示			^ ()
 □ビー 貼り付け ▲ 切り取り □ビー 貼り付け ミョートカットの貼り付け 	▶ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓		
クリップボード	整理	新規 開く 選択	
	19/Administrator/ftp/	 ✓ C ftpの検索 	Q
★ お気に入り	actionscript	i cert	
₩ ×yrJ-1	ETERNUSDX100	ETERNUSDX200	
	mountpoint	QLE2562	
	RX2520M1	RX2530M1	
	srx526r1v0200	Firm	
I. I.	workflow	UPDATE_DVD_111604_02.iso	
12 個の項目 1 個の項目を選択			

5.ファームウェアをインポートします。

ISM の GUI 画面のグローバルナビゲーションメニューから[各種設定]-[リポジトリ]を 選択します。[ファームウェア]の[アクション]ボタンから[ファームウェアインポート] を選択します。

画面表示に従い、ファイルの配置場所、種類、モデル、バージョンを入力して適用を 選択します。

	入力するバージョンは、	下記の表に従って入力してください。
--	-------------	-------------------

種類	モデル	バージョン入力方法
iRMC	RX100 S8,	リリースノートを参照して、iRMC のバージョンと
	CX2550 M1 な	SDR のバージョンを指定してください。
	ど	
BIOS	RX100 S8,	リリースノートを参照して、BIOS バージョンを指定し
	CX2550 M1 な	てください。
	ど	

インポートの開始後、作業が ISM のタスクとして登録されます。作業の状況は

「タスク」画面で確認してください。

グローバルナビゲーションメニューから[イベント/タスク]-[タスク]を選択すると、

「タスク」画面にタスクの一覧が表示されます。

6. ファームウェアがインポートされたことを確認します。

グローバルナビゲーションメニューから[各種設定]・[リポジトリ]を選択し、

[リポジトリ設定]画面を表示します。画面左側で[ファームウェア]を選択し、右画面で [ファームウェア]タブを選択します。

インポートを行ったファームウェアが[ファームウェアリスト]に表示されることを 確認してください。 7.対象サーバをメンテナンスモードに設定します。

グローバルナビゲーションメニューから[管理]-[ノード]を選択し、[ノードリスト]画面 を表示します。

なお、ISM に登録されているノード数により、ノードリストが表示されるまで時間がか かる場合があります。

ファームウェアアップデート対象ノードを選択し、[アクション]・[メンテナンスモード 設定]を選択し、メンテナンスモードに設定してください。

8.対象サーバを選択します。

[カラム表示]で[ファームウェア]を選択します。

ファームウェアアップデートをするノードのチェックボックスを選択します。

(現行バージョンより版数の高い版数がインポートされ、最新バージョン欄に

そのファームウェアの版数が表示されている状態でないとチェックボックスの選択が できないようになっています。)

[アクション]ボタンから[ファームウェア更新]を選択し、[ファームウェアアップ デート]ウィザードを表示します。

9.ファームウェアアップデートを開始します。

[ファームウェアアップデート]ウィザードに従い、設定項目を入力します。(設定項目 の入力は、ヘルプの[管理]→[「ノード」画面]→[ファームウェア更新]と移動し、

[ファームウェア更新]ヘルプを参照してください)

ファームウェアアップデートの開始後、作業が ISM のタスクとして登録されます。 作業の状況は「タスク」画面で確認してください。

グローバルナビゲーションメニューから[イベント/タスク]・[タスク]を選択すると、 「タスク」画面にタスクの一覧が表示されます。

10. BIOS,PCI カードのオンラインファームアップの場合、対象サーバの再起動を 行います。

11.対象サーバのメンテナンスモードを解除します。

グローバルナビゲーションメニューから[管理]-[ノード]を選択し、[ノードリスト]画面 を表示します。

ファームウェアアップデート対象サーバを選択し、[アクション]-[メンテナンスモード 設定]を選択し、メンテナンスモードを解除してください。

12.対象サーバのファームウェアバージョンが上がったことを確認します。

グローバルナビゲーションメニューから[管理]-[ノード]を選択し、[ノードリスト]画面 を表示します。

ファームウェアアップデートを行った機器のノード名をクリックし、[プロパティ]を 選択します。

[アクション]ボタンから[ノード情報取得]を選択し、ノード情報取得を行います。 グローバルナビゲーションメニューから[管理]-[ノード]を選択し、[ノードリスト]画面 を表示します。

[ノードリスト]画面内の[カラム表示]で[ファームウェア]を選択することでアップ

デート後のバージョンが表示されます。

以上でサーバのファームウェアアップデートは完了です。

4.6. スイッチ、ストレージを設定する

4.6.1. プロファイルを作成する

【説明】

プロファイル(ハードウェア設定の集合体)を作成します。

【手順】

- 1. [プロファイル設定]画面内で[全てのプロファイル]を選択し、[全てのプロファイル] 画面を表示します。
- 2. [全てのプロファイル]画面内の[アクション]ボタンから[プロファイル追加]を選択し、 [プロファイル追加]ウィザードを表示します。
- 3. [プロファイル追加]ウィザードに従い、設定項目を入力します。

RAID 構成や SNMP 設定、アカウントなど、各機器に応じた設定内容を入力してくだ さい。

(設定項目の入力はヘルプの[各種設定]→[「プロファイル」画面(各種設定)]→[プロファイル/プロファイルグループリスト]→[プロファイル追加]と移動し、[プロファイル追加]ヘルプを参照してください)

4.プロファイルの追加が完了したら、当該のプロファイルが[全てのプロファイル]画面に 表示されます。

以上でプロファイル作成は完了です。

4.6.2. プロファイルを適用する

【説明】

ISM に登録したノードに対してプロファイルの適用を実施します。

【手順】

- 1.プロファイルを作成します。(プロファイルの作成手順は、「2.4.5. プロファイルを 作成する」を参照してください)
- 2.グローバルナビゲーションメニューから[管理]-[ノード]を選択し、[ノードリスト]画面 を表示します。

なお、ISM に登録されているノード数により、ノードリストが表示されるまで時間がか かる場合があります。

3.[カラム表示]で[プロファイル]を選択します。

4.プロファイルを適用すべきノードをノードリストから選択します。

- 5.[アクション]ボタンから[プロファイル適用/再適用]を選択し、[プロファイル適用] ウィザードを表示します。
- 6.[プロファイル適用]ウィザードに従い、設定項目を入力します。(設定項目の入力は、 ヘルプの[管理]→[「ノード」画面]→[プロファイル適用/再適用]と移動し、
 - [プロファイル適用/再適用]ヘルプを参照してください)
- 7.プロファイルの適用が完了したら、[ノードリスト]画面内の当該のノードの[ステータス]列が[適用済]と表示されます。

以上でノードへのプロファイル適用は完了です。

- 以上 -